

24 (火)

約束の地を離れて

創世記三六章

エサウは、妻、息子と娘、家のすべての者、家畜とすべての動物、カナンの地で蓄えたすべての財産を携え、弟ヤコブから離れてほかの地へと赴いた。(6)

ヤコブの双子の兄エサウの系図がここに記されています。この系図を見ると、エサウの子孫がいかに繁栄し、平和と安定を得たかが分かります。ヤコブの子たちが相争い、やがては飢饉のためにエジプトに移住するのは好対照です。けれども、エサウ家は神のご計画から外れて行きます。なぜでしょうか。ここで大いに気になるのは、エサウがヤコブの家族と別れるために父の家を離れ、約束の地を捨てて他の土地へと移って行ったことでした。約束の地に対する思い入れの小ささは、神を畏れる思いの低さの表れでした。エサウの心はあまりにも地上のことに囚われ、神を呼んで生きることを疎かにしたのです。エサウとヤコブ。地上の繁栄を第一に求める生き方と、約束の地に留まって神の国を目ざす生き方と、私たちはどちらでしょうか。まず神の国とその義を求める者でありたいものです。